

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公表番号】特表2014-513710(P2014-513710A)

【公表日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2014-510806(P2014-510806)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	9/66	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/192
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/14
A 6 1 K	47/12
A 6 1 K	47/02
A 6 1 K	9/66
A 6 1 P	29/00
A 6 1 P	25/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1から15% (w/w) のケトプロフェンナトリウム塩；  
 80から95% (w/w) の1種類以上の液状の親水性担体  
 を含み；  
 pH値が7.5から10である、  
 経口投与のための医薬組成物。

【請求項2】

pH値が9.5である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

液状の親水性担体の総量が85から95% (w/w) の範囲である、請求項1に記載の医薬組成物。

**【請求項 4】**

液状の親水性担体媒体が、ポリエチレングリコール、グリセリン、プロピレングリコール、PEG-40水添ヒマシ油、ポリソルベート、ヤシ脂肪酸グリセリル、PEG-6カプリル/カブリルグリセリド、ポロキサマー、ラブラフィル、カブリロカプロイルマクロゴール-8グリセリド、ポリエトキシル化ヒマシ油、グリセロール-ポリエチレングリコールオキシステアレートまたはPEG-40水添ヒマシ油、エトキシル化脂肪族アルコールおよびソルビタンエステルからなる群より選択される、請求項1に記載の医薬組成物。

**【請求項 5】**

液状の親水性担体媒体がポリエチレングリコール600である、請求項1に記載の医薬組成物。

**【請求項 6】**

必要に応じてpHをクエン酸で調整する、請求項1に記載の医薬組成物。

**【請求項 7】**

必要に応じてpHを水酸化カリウムで調整する、請求項1に記載の医薬組成物。

**【請求項 8】**

ケトプロフェンナトリウム塩と液状の親水性担体との重量比が1:12から1:15である、請求項1から7のいずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項 9】**

軟質カプセル剤の形態の請求項1から8のいずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項 10】**

以下の連続工程：ケトプロフェンナトリウム塩を液状の親水性担体に、均一な混合物を得るために攪拌しながら溶解させる工程；次いで、必要に応じて充分な量の塩基性化剤を用いてpHを調整する工程を含む、請求項1から9のいずれか一項に記載の医薬調製物の調製方法。

**【請求項 11】**

炎症性疼痛の処置のための薬物の調製のための請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物の使用。